サイルベア® ソフト｜取扱方法

各部名称

カバーの開け方、外し方

- 図示箇所にマイナスドライバーを差し込み、矢印方向にドライバーを倒し、カバーのツメを外してください。
- カバーを取り外す場合は、カバーを立て、上方に引き上げてください。

カバーの開閉方向

- フルカバー仕様のため、開ける場合と閉める場合に方向性があります。
  それぞれ逆方向からの開閉作業は行えません。
- 開ける場合
  幅が狭い側から広い側へ順番に開けてください。
- 閉める場合
  幅の広い側から狭い側へ順番に閉めてください。

カバーの取付け方、閉め方

- カバーを立てた状態で、サイドプレートRの軸部にはめ込んでください。
- カバーを倒し、ツメ部をサイドプレートLに、はめ込んでください。
  固い場合は、プラスチックハンマーなどで軽くたたいてください。

取付ブラケットの取付け（移動端）

- サイルベアソフトの外側から取付ブラケットを取付けます。
  取付ブラケットの３ヶ所の曲げ部が図示位置にはまるよう取り付けてください。
  （内周固定、外周固定とも）

※ 内周固定と外周固定は それぞれ専用ブラケットになります。

取付ブラケットの取付け（固定端）

- サイルベアソフトの内側からブラケットを取付けます。
  取付ブラケットの２ヶ所の曲げ部が図示位置にはまるように取り付けてください。（内周固定、外周固定とも）

※ 内周固定と外周固定は兼用です。

リンクの追加

- 移動端側にリンクを追加してください。サイドプレートR及びLを組付けます。
- 底面側にアームを組付け、サイドプレートRとLを連結させます。
  ▲マーク側のツメ同士を引っ掛け、アームを矢印方向に押し、はめ込みます。
- カバーを組付けます。（参考:カバーの取付け方、閉め方）追加するリンク分繰り返します。

リンクを減らす

- 移動端側からリンクを外してください。カバーを外す。（参照:カバーの開け方、外し方）
- 底面のドライバーマーク部の隙間にマイナスドライバーを差し込み、矢印方向に押し込み、アームを外します。（左右）
- サイドプレートR及びLを取り外します。取り外すリンク分、繰り返します。

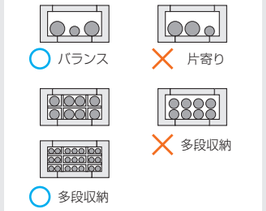
縦仕切りの取付け

- 縦仕切りをアームに取り付けます。
  アームに取り付ける向きを変えることで、固定タイプ、移動タイプを選択できます。
  ・A 側取付：固定タイプ（左右へ動かせません）
  ・B 側取付：移動タイプ（左右へ動かせます）

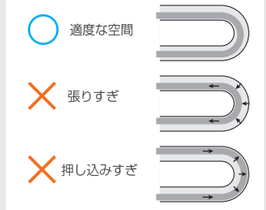
横仕切りの取付け

- 横仕切りを使用する場合は、縦仕切りを２個以上取付けてください。
- 移動タイプは、横仕切りが全幅タイプ、縦仕切り３個以上の場合で、中央部に取付けた縦仕切りのみ使用できます。
- 縦仕切り間を仕切る横仕切りを使用する場合は、キャップを取付けてください。
  キャップはプラスチックハンマーで軽くたたいて取付けてください。

ケーブル類の収納方法

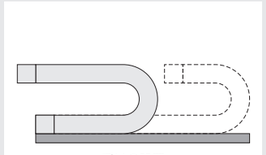


- ケーブル類は、左右の質量バランスを考慮し収納してください。
- 質量の片寄りは、傾き、蛇行及びケーブル類のねじれの要因になりますので行なわないでください。
  また、収納断面高さ寸法に対して、隣り合うケーブル類が乗り越える可能性のある径寸法の場合は、セパレーターを設置して乗り越え、乗り上げが起こらないようにしてください。



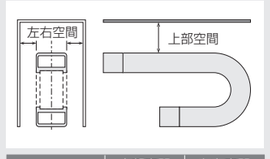
- ケーブル類に必要以上の張力が加わらないようにし、屈曲部では自由に動くように配線してください。
- 試運転時に、ケーブルの状況を確認しながら長さや張力を調整してください。
- 移動端・固定端に出口付近では、ケーブル類を固定してください。

受けの設置



- 水平走行時には、可動範囲に受けを設置していただき、サイルベアソフトが垂れ下がらないようにしてください。

空間設定



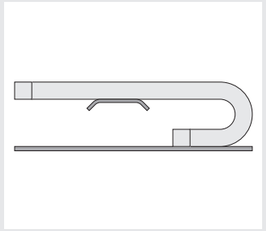
形番	上部空間 (㎜)	左右空間 (㎜)
KLC-50	100 以上	50 以上

- サイルベアソフトの上側、左右に機器等がある場合は、空間の確保をしてください。

※ 空間の確保がない場合、稼働時に接触し破損する可能性があります。

※ 使用条件（速度、加速度、長さ、質量、ケーブルの種類等）や経時変化によるたわみ量の増加が起きた場合などで異なる場合がございます。
試運転、日常 / 定期点検時に空間およびたわみの確認を行ってください。

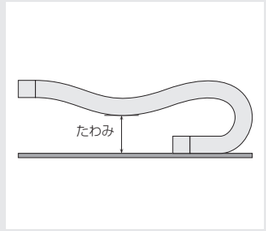
フリースパン長が長い場合



- 仕様によっては、経時変化によりたわみ量が増加する場合があります。
  能力線図の範囲限界付近で使用される場合は、あらかじめ、たわみを規制するガイドの設置をお勧めします。

※ 但し、ガイドとサイルベアソフトが動作時に接触するため、接触音、摩耗粉の発生を伴います。

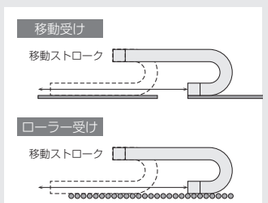
たわみについて



- サイルベアソフトは、フリースパン部が大きくたわんだ状態での走行やサイルベアソフト同士が当接するスライド走行には対応しておりません。
- ストローク / フリースパン / ケーブル重量オーバーや経時変化によりたわみが増加する場合は、稼動を停止し受けを設けたわみを抑制する、あるいは新規のサイルベアソフトに交換するなどの処置を行なってください。

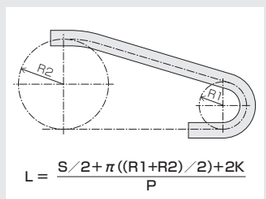
特殊姿勢での使用方法について

① 天井取付け（逆水平移動）で使用される場合



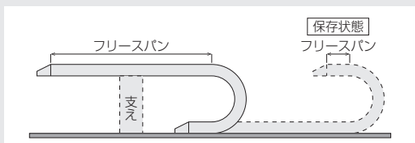
- サイルベアソフトの垂れ下がりを抑制するために、下側に移動受けが必要となります。
- 移動受けが設置できない場合は、ローラーコンベア等を設置してください。

② 移動端ブラケットの取付け位置が高く、サイルベアソフト本体が平行に移動しない場合



- ブラケット部に負荷が掛かりやすくなります。
  ブラケット、サイルベアソフト本体に無理な力が加わらないように調整をしてください。
- リンク数が平行移動に比べ、プラス必要となります。

装置を稼働しない時の状態について



- 装置に組付けた後、稼働しない場合は、フリースパンが短い状態となるように保管してください。
- できない場合は、フリースパンの中央部を支えるような受けを設けてください。
- 経時変化によりたわみの増加を予防する処置です。

定期点検箇所

- サイルベアソフトは、リンク式ケーブルチェーンです。繰り返し使用することで軸部の磨耗によりガタ付きが発生し、動作への影響、能力線図の低下などの要因となります。
  ケーブル・ホースの保護性、サイルベアソフト本体の安定した挙動が確保できなくなった場合、交換をしてください。
- 装置の定期点検時に、サイルベアソフトの点検も併せて実施をしてください。
- 定期的に次の項目について保守点検をしてください。

□ 軸部のガタの確認。　□ カバー及びアームの外れ。　□ 各部品の破損確認。
□ ブラケットの破損。　□ 取付け部のネジのゆるみの確認。　□ 経時劣化によるたわみ量の確認。
□ 収納ケーブルの磨耗、ねじれ等の確認。

点検時に異常が発見された場合は、速やかに交換してください。